北広島町社協だより

まごころ通信

平成18年６月16日発行

第4号

地域でがんばるお年寄り

北広島町大利原で独居生活をしておられる斉藤美之さん（八十八才）は、地域から毎年巣立って行く子供たちに安全と健康を祈って、手作りの「金のわらじキーホルダー」を送りつづけて今年で二十年目を迎えられます。

先日行われた北広島町青少年育成推進協議会の席上で、永年の育成功労者として表彰されました。

主な内容

地域で頑張るお年寄り …… 1
１年を振り返って …… 2
事業計画 …… 3～4
赤十字出前講習会のお知らせ …… 4
平成18年度予算 …… 5
まごころ（浄財寄付） …… 6～7
福祉用具寄贈を受ける …… 8
福祉用具の貸し出し …… 8

社会福祉法人 北広島町社会福祉協議会

□本所・大朝支所 〒731-2104 広島県山県郡北広島町大朝2513-1
北広島町大朝福祉センター内
電話(0826)82-2680 FAX(0826)82-2778

□芸北支所 〒731-2322 広島県山県郡北広島町細見１６１
電話(0826)35-0144 FAX(0826)36-3013

□千代田支所 〒731-1533 広島県山県郡北広島町有田５０４
電話(0826)72-4670 FAX(0826)72-7071

□豊平支所 〒731-1711 広島県山県郡北広島町戸谷1088-1
電話(0826)83-0050 FAX(0826)85-0005

一年を振り返って

北広島町社会福祉協議会
会長　寄光　旭

平成十七年四月一日を期して、北広島町社会福祉協議会が発足し、激動の一か年が経過しました。

新町となり色々の課題を持ちながらも基本的にゆるむことなく住民に対する福祉サービスの向上をモットーとして、主たる事務所（本所）を基点とし、旧町単位に住民の利便性・交通機関の事情・官公庁との関係を考慮し、支所の位置と支所機能の充実・人員配置を行いました。

合併後は社会福祉現場の最前線において、地域住民や利用者のニーズに応えるべく、諸団体・福祉関係者等々と密接な連携を図りつつ事業の推進や、従来から引き継がれてきました「きめ細かな福祉サービス」が実施できる体制づくりに努めました。

また事業内容においても、行政からの受託事業・予防対策事業・社協独自事業、また介護保険事業等も旧町社協の実践をきちんと受け止め遂行しました。

組織についても、職員の意識統一と社協の位置づけに対しての共通認識の形成、資質向上のために職場内外での研修・視察も多く採り入れました。

住民から信頼される社協になるための「理念」「社是」を全職員で討議し、基本姿勢と役割を確認しました。

年度中、職員の異動等もありましたがお互いの協力、カバーによりまして十七年度を終えることができました。

ユニホームも新調し、北広島町社協の意気を示す色調に統一しました。

新年度に入りましても、福祉に対する声やニーズを体して、繁栄でき、親しみ利用しやすく、緊急時に即応できる社協で有り続けます。

皆様の支援・提言をよろしくお願いします。

北広島町社協が目指すもの

【理念】

私が私で良かったな
み〜んな大好き
北広島町

【社是】

わくわく　マメマメ　GO

理事会において決議されました。
職員もこのことを踏まえ、一丸となって頑張っていきます。

平成十八年度
北広島町社会福祉協議会事業計画

基本方針

社会情勢は、人口の減少化がはじまり、少子・高齢社会の対応を中心とした諸施策のうち、社会保障制度は、負担と給付、世代間問題を抱えて年金・医療・介護などの見直しが図られている。

社会福祉は、介護保険制度の改正や障害者自立支援法の成立など、大きく変化するなか、地方分権に向けた三位一体改革が加速し本格的に地方主導の時代が到来している。

こうした状況から、社会福祉協議会を取り巻く環境は厳しさを増し、社会福祉協議会自らが事業全般の見直しや効率化を積極的に行う必要がある。

地域住民が、住み慣れた地域で、一人ひとりが安心して暮らせ、地域社会の一員として尊厳を保ちながら自己決定が尊重され利用者の立場に立った生活支援・福祉サービス等を実現するには、住民参加・協働を福祉関係者の広範なネットワークの構築や地域を基盤とした先駆的な福祉活動に取り組むことが一層重要である。

諸状況や課題を踏まえ、地域に根ざした総合的支援体制整備の実現のため、社会福祉、保健、医療、教育、交通、住宅、就労等あらゆる関係機関・団体との連絡調整や役割分担を行い、地域福祉の民間推進組織として専門性を生かした活動を計画的・総合的に次の重点項目を掲げて事業を推進していくこととする。

【重点事業】

1　住民参加事業の推進
2　総合相談支援活動の推進
3　地域の福祉力向上
4　社協の特性を生かした介護保険事業推進

【事業計画】

1　法人運営

適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整などを行う社協事業全体の管理業務にあたる。

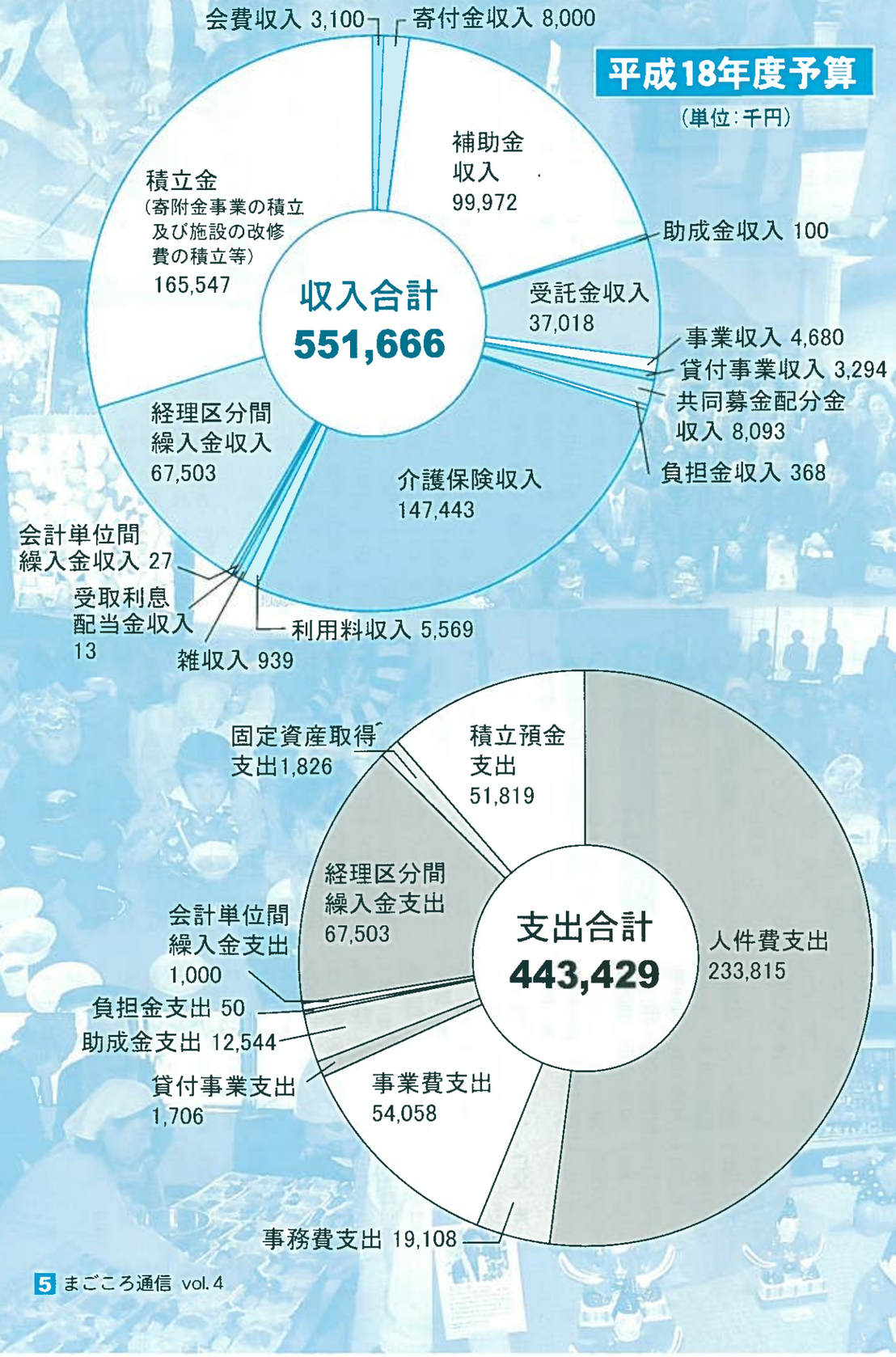
一　理事会、監査会、評議員会等の運営
二　財務管理
三　職員の採用や研修・能力開発、人事管理
四　組織管理体制の整備、強化発展の策定などの将来ビジョンの検討
五　広報（まごころ）・チラシ等の発行により福祉の啓発活動
六　苦情相談の受付、情報開示
七　日本赤十字社事業等の業務
八　共同募金、歳末たすけあい運動への協力
九　葬具貸し出し事業
十　公用車管理
十一　大朝福祉センター（指定管理者）仙水園、千代田、豊平支所の運営管理
十二　所轄庁への届けや対外的な法的対応を行う法務に関する業務

2　地域福祉課

一　行事カレンダー発行事業
二　くらしの相談事業（心配ごと相談）
三　民生資金貸付事業
四　生活福祉資金貸付事業
五　福祉車両貸出事業
六　レクリエーション用具貸出事業
七　日常生活用具貸出事業
八　地域住民グループ支援事業
九　おげんきですか訪問事業（一人暮らし老人巡回相談）
十　食の確保事業（配食サービス）
十一　寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業

平成18年度予算

（単位：千円）



十二 家族介護教室事業
十三 家族介護交流事業
十四 介護用品支給事業
十五 地域福祉権利擁護事業（かけはし）
十六 障害者スポーツ・レクリエーション教室開催事業
十七 点字・声の広報事業
十八 重度身体障害者等移動支援事業
十九 七夕会
二十 地域まるごと福祉教育推進事業
二十一 福祉協力校事業
二十二 リサイクルボランティア事業
二十三 建労ボランティア事業
二十四 小物づくり教室事業
二十五 合歓の会
二十六 老人クラブ支援事業
二十七 身体障害者協会支援事業
二十八 原爆被害者の会支援事業
二十九 遺族会支援事業
三十 母子寡婦福祉会支援事業
三十一 実習生・研修生管理事業
三十二 法人後見導入検討事業
災害ボランティア育成事業
自閉症児対策導入検討事業
出前による福祉教育展開事業
公用車貸出事業検討事業
出前による福祉教育事業（寸劇版）
高齢者の交通安全教育事業
こけまーや塾

3 介護事業課

介護保険事業

一 居宅介護支援事業（本所、芸北）
二 訪問介護事業（大朝を本所として芸北、千代田をサテライト）
三 訪問入浴介護事業
四 福祉用具貸与事業
五 芸北通所介護事業所
六 グループホーム松籟荘

自立支援給付事業

一 訪問介護事業

補助金による事業

一 知的障害者小規模通所授産所「さあくる」

あなたのまわりに赤十字

皆様には、平素から赤十字に対し、温かいご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
皆様から寄せられた大切なお金は、「災害救護活動」「講習普及事業」「医療事業」「血液事業」「赤十字奉仕団」「青少年赤十字」「国際活動」等に役立てられています。

赤十字出前講習会のお知らせ

日本赤十字社では、地域に出向いて赤十字救急法の講習会をおこなっています。子ども会、女性会、老人クラブ、いきいきふれあいサロン等、地域のグループでお申込み下さい。お近くの集会所まで日赤県支部より指導講師が伺います。

●応急手当、知っていることで 命を守る

・血が止まらなくなったら…　・お風呂やトイレで倒れたら…　等

こんな時、みなさんならどうしますか？
日常生活でおこりうるけがや事故にあわないために、救急法を身につけてください。

◆期　　間◆　平成18年8月～12月
※詳しい日程は、話し合いの上決定します。
◆受 講 料◆　無料
◆受講時間◆　２時間程度
◆申し込み◆　日本赤十字北広島分区
（北広島町社会福祉協議会本所･各支所内）

社協活動を支える善意銀行

明るく住みよい町づくりに役立ててほしいと、次の方々から香典返し、退院の内祝等あたたかいご寄付をいただきました。

この浄財はご趣意にそい、社会福祉事業資金として活用させていただきます。

ありがとうございました。

自　平成十八年一月一日
至　平成十八年五月三十一日
（敬称略）

千代田地区

香典返し

・一　月

惣王寺川　一
後有田森　西
沖野　生原　西
弘行　今田チサ子　遠
亡父　亡夫　亡父　達雄
晴美　唯夫　勇　輝人

・三　月

五平四丁目　田
福島下美代子　此
重三　亡妻　美補子　米田秀夫　亡母ツ　ルヨ

自砂半次郎　亡母長男　アサミ
佐々木義夫　亡長男　昭三
亡母　竹内　敬子
亡父　亡母　儀助
亡父　亡夫　敬子
亡妻　ユキエ

閻鉄別横浜市
所原所
谷本利則
竹内　正行
川原　潤一
亡母　竹内
亡父　亡夫
亡兄　大田　武

・四　月

王　生　今田チサ子　亡父　市太郎
女ケ原　渡辺　勇
丁保余原　甲斐美智子　亡母　イマヨ
滝原さよ子　亡夫　正之
今有本本南南本・三　地　桐原　住香鐘分　五反田　博美　一　亡父　亡父　隆實
田田地地方万地　月　原　田　清見　文彬　亡母　タカ子　亡父　隆實
本王古川有春春川・二　地　生　地　桐原　住香鐘分　五反田　博美　一　亡父　亡父　隆實
本・三　地　桐原　住香鐘分　五反田　博美　一　亡父　亡父　隆實
本王古川有春春川・二　月　戸　間　木　木　戸　小畑　谷川　神田　浩二　隆浩　亡父　亡父　隆實
本・三　地　生

福祉用具寄贈を受ける

平成18年5月23日郵便局で地域福祉の貢献をしたいと、財団法人郵政福祉中国地方本部の協賛により、町内の郵便局長を代表して芸北連絡会会長壽老靖彦氏（雄鹿原郵便局長）が、下記の福祉用具を北広島町社会福祉協議会に寄贈されました。

●寄贈品

1・車イス　1台

2・車イス用クッション　7台分

（なお、芸北連絡会は安芸高田市、山県郡、広島市安佐南区、安佐北区、佐伯区、廿日市市、大竹市、江田島市、に存在する１２９局の特定郵便局で組織されています。）

福祉用具の貸出をしてます

電動ベッド

社会福祉協議会では、

入院中の一時外出や外泊、骨折･捻挫などで福祉用具が必要となった場合、短期的に無料で福祉用具の貸出を行っております。

福祉用具の種類は、車いす・歩行器やベッド、入浴用品等があります。詳しい内容や貸出方法はお近くの社協本所･各支所までご連絡下さい。

ポータブルトイレ

シャワーチェアー

入浴台

歩行器

お気軽にご相談ください。